

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する東京電力ホールディングス株式会社及び日本原子力研究開発機構との面談
2. 日時：令和2年2月7日（金） 10時00分～11時25分
3. 場所：原子力規制庁 16階 会議室
（TV会議システムにより日本原子力研究開発機構安全研究センター会議室と中継）
4. 出席者
原子力規制庁
長官官房総務課国際室
安井原子力規制特別国際交渉官
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
竹内室長、岩永企画調査官、木原管理官補佐、星主任研究調査官、知見主任安全審査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下、「JAEA」という。）
安全研究センター 丸山副センター長 他担当者 3名
原子力科学研究所 臨界ホット試験技術部 担当者 1名
東京電力ホールディングス株式会社（以下、「東電HD」という。）
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当者 5名
5. 要旨
○原子力規制庁から、資料に基づき、東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関して、非常用ガス処理系配管等からのスミアサンプルや瓦礫等のサンプルの採取、運搬、分析等の実施に必要な具体的な情報、調整が必要な点等の確認を行った。
○東電HDから、資料に基づき、過去の事例として福島第一原子力発電所で採取された分析サンプルの輸送等に関して説明があった。
○JAEAから、サンプルの分析にあたって、必要な容量や形状などの具体的な情報について説明があった。
○福島第一原子力発電所における分析サンプルの採取、運搬、分析等にあたっては、原子力規制庁、東電HD、JAEAの関係機関間で必要な情報を共有しつつ、作業の分担等を含めて引き続き調整しながら進めることとなった。
6. 資料
➢ 東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会 第10回会合 資料4（抜粋）【原子力規制庁資料】
➢ 福島第一原子力発電所で採取された比較的線量の高い分析サンプルの

輸送について【東電HD資料】

以上